

## 「広い共同でこそ政治は変えられる」④

もし戦争になったら 5/24石川康宏氏の講演より

石川氏は次に、もし戦争という事態になった場合について言及しました。

それによると、現代の戦争は、第2次世界対戦時のような地上戦にはならず、互いに長距離ミサイルを撃ち合う戦いになるので、日本は全土にミサイルが飛来することになるとのことです。そして、「日本がなにも被害を受けていなくても、米国が被害を受ければ、“集団的自衛権”によって日本が敵基地攻撃を行うことになり、反撃されて大規模な被害が出る可能性がある」と、政府が正式に認めていることを紹介しました。

### だから全土の基地のみ強靱化

政府はそのことを踏まえて、日本全国の自衛隊基地全283地区だけを強靱化(地下基地化)する予算を計上しています。もちろん、私たちの家を強靱化する予算はきません。

### 日本は戦争に絶えられない

これらのことについて、石川さんは次のように指摘しました。

- ◇ 頭の上からミサイルが飛んでくる。島国日本に逃げ場はない。
- ◇ 原発に命中すれば周辺市民は何十、何百も避難せねばなくなる。
- ◇ エネルギー自給率は10%、食糧自給率38%(実際は10%)なので、多くの人々が凍死、熱死、餓死する。
- ◇ 最悪の場合には、核兵器の被害も想定されている。
- ◇ 沖縄県・先島諸島の住民ら約12万人を、九州7県と山口県に避難させる政府の計画がすでにある。

## (訪問介護)ヘルパーさんが足りない！

### 平良木議員の一般質問に「処遇改善は厳しい」とも答弁

6月議会の一般質問で、平良木議員は、訪問介護事業所の実態についてたずねました。

まず、全国的にヘルパー不足が指摘されている中、介護支援専門員(ケアマネジャー)が、要介護者の状況を見るに見かねて、掃除や買い物、通院同行などの支援を無報酬でせざるを得ない、いわゆるシャドウワークが増えているのではないかとたずねました。

これに対して市長は、上越地域住宅支援事業推進協議会(ケアマネの団体)が行ったアンケートで、シャドウワークの負担感を訴える意見がいくつか寄せられているほか、市に対しても、ケアマネから業務の範囲に関する相談が寄せられていると答えました。

そこで平良木議員は、それだけ人手不足である根本原因は、他の職業と比べて平均年収がまだまだ低いなど、介護スタッフの処遇が不十分であることを指摘し、千葉県流山市などが市独自で行っている処遇改善事業を、上越市でもできないかと迫りました。

ところが市長は、「まさに喫緊の課題であることは認識している」と答えながら、「市独自で処遇改善を実施するには、膨大な財政負担もあり、現実的には非常に厳しい」と答えました。

ケアマネさんにしわ寄せの実態あると答弁

## 日本共産党の街頭演説に約80人の市民が参集

6月22日、日本共産党の街頭演説会がエルマール前で行われ、約80人の市民が参集しました。

この演説会は、元衆議院議員の藤野やすふみさん、参議院比例予定候補のたいらあやこさんが、全県を縦断して行ったキャラバンの一環として行われたものです。

たいらさんは、物価高騰で生活が苦しくなる中、暮らし応援の予算は伸び

ず、防衛費だけが突出して伸びていることを指摘、まさに戦争する国にする石破政権を鋭く批判しました。

また、藤野さんは、暮らしを守るには消費税を一律5%に引き下げることが必要であること、そして、この10数年に大企業や大金持ちを優遇してきた税制を元に戻すだけで消費税の減税分の財源が確保できることを説き、聴衆の共感を呼びました。



### 日本共産党上越市議員団ニュース

No.877 2025年6月29日

連 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)  
絡 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))  
ホームページ <https://jcpjoetsugiindan.webnode.jp/>